

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~Kaiho journal~

第278号

発行日 2025年2月1日発行

1月14日 KRAセミナー「ePartsWorld説明会」

皆さんこんにちは、社長の近藤です。1月14日に、東京でKRAセミナーを行い、今回のテーマは「ePartsWorld説明会」でした。お忙しい中全国から61名の方にご参加いただき大盛況となりました。

このePartsWorldとは、3年前から当社が独自に開発してきたECサイトのことで、今回全国102社(1/14現在)の同業者(KRAメンバー様)に水平展開するタイミングで、ePartsWorldという名前をつけました。このePartsWorldという名前には、リサイクルパーツを通じて、新しい価値を世界中のお客様へ届けていくという思いが込められています。

当日の説明会では、ePartsWorldの概要説明以外にも会宝産業の活用実績をご紹介し、さらにモニター企業様(今回4社に依頼)の取り組み報告も行いました。

今後KRAメンバー様は自社の置き場にある車両や部品をこのePartsWorldに登録することで、その情報を海外の人が見て注文を入れてくれるようになるのです。参加されたKRAメンバー様にはとても好評で、全企業様が「すぐに活用したい」もしくは「前向きに検討したい」というアンケート結果でした。

このようなプラットフォームビジネスにおいては、購入する海外のお客様だけでなく、国内の出品情報も増えていくことが重要であり、そのためにはKRAメンバーの皆様にご活用いただくことが必要になってきます。

会宝産業1社ではできる事は限られていますが、KRAメンバーの皆様と協力していくことで、より貢献度の高い事業が可能になります。

今月は15日に感謝の集いがありますが、その前日には「ePartsWorld研修会」も企画しております。このような説明会や研修会を通して、引き続きKRAメンバーの皆様と共に自動車リサイクル業の収益性と社会性の向上に貢献していきます。





キラリと光る存在に



●今月の出番 ●

千葉営業所
ブッハ マガル タパジットさん



皆さまこんにちは。ブッハ マガル タパジットです。私は昨年8月に会宝産業に入社して、もう半年が経ちました。この半年間で、会社のことや仕事のことについて、いろいろなことを学びまし

た。初めは慣れないことばかりでとても緊張しましたが、先輩たちが優しく教えてくれたので、少しずつ仕事に自信を持てるようになりました。

会社の雰囲気はとても明るく、みんなが協力し合っています。特に、先輩たちはいつも丁寧にアドバイスをくれて、とても感謝しています。私はまだまだ未熟ですが、先輩たちを見習いながら、もっと成長したいと思っています。



私の家族はネパールにいますが、日本では妻と暮らしています。そろそろ子供も生まれますので子供の為にも頑張りたいと思っています。会宝産業で働くことを家族は誇りに思っています。私の夢は仕事で成功して自分の力で、ネパールの家族、日本の家族をもっと幸せにすることです。そして、日本で学んだことを活かして、いつか故郷にも役立つことがしたいです。この半年間はあっという間でしたが、これからも努力を続けて、自分の目標に向かって頑張りたいと思います。これが私の今の気持ちです。これからも一生懸命頑張ります！

農業の取り組み ～農業事業部より～



皆様こんにちは。1月は寒い日が続き、前半は例年よりも天候が優れない日が多く不安を感じていましたが、後半は晴れる日が増えたことでトマトの生育挽回が図れることに期待しつつ栽培に取り組んでいます。天候以外の面で少しでも栽培状況の改善ができるように適期の栽培管理・追肥・環境改善をしています。

1月はトマトの栽培管理を主とし、さらにタマネギの追肥、葉物野菜の管理をしていました。そしていよいよ今期のトマトの収穫が開始されました。去年よりも早く植えることができたため、収穫開始が1か月ほど早くなりました。収穫終了は去年と同様の予定ですので1か月分収穫量が増えることとなります。春の収穫量とまではいきませんが、数百kgの収穫量増加を見込んでいます。食味・糖度は最盛期のものと比べるとまだまだですが、この時期では十分に美味しいものかと思えます。これからどんどん美味しくなってくるトマトを収穫するためにも作業面・技術面での改善をしていきます。安心安全で美味しいトマトを今年もよろしくお願いします。

2月はトマトの収穫・出荷と並行しながら引き続き栽培管理、他の野菜の管理もしていきます。トマトの栽培管理の遅れは絶対にないように各種作業改善に取り組み、適期での各種作業をしていきます。（担当：畠中）



会宝農園の野菜はこちらのサイトから ご購入いただけます。
ぜひご覧ください



社員海外レポート



ナマステ！インドAKKの宮川です。デリーで開催されたBharat Mobility Global Expo 2025をご紹介します。

この展示会はインドのモビリティ分野における大規模なイベントです。モディ首相は初日、インドの自動車産業がこの一年で12%の成長を遂げたことや、Make in Indiaイニシアティブによる手頃な価格の自動車販売、EVやグリーンモビリティの推進を強調されました。また、昨年だけで11兆ルピー（約19兆8,440億円）以上がインフラ整備に投資され、EV販売は過去10年で640倍（年間販売台数が2,600台から168万台へ伸びた）に増加するなど、持続可能なモビリティの実現に向けた取り組みが進んでいます。

モディ首相のスピーチでも廃車政策の重要性が強調され、経済発展と環境保護を両立させるインドの持続可能な成長の鍵となると説明されていました。経済発展に伴い、新車販売台数が増え続けるこの国で、ますます廃車処理が重要になってきます。会宝産業としても、持続可能な未来に向けた取り組みを進めてまいります。



今月のパチリ



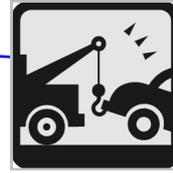
当社では2023年から毎年、長期インターンシップ「次世代型インターンシップ」を実施しています。このインターンシップでは、サーキュラーエコノミーに関する教育を、当社の取り組みを通じて学生に提供しています。具体的には、学生が理想とする未来を自由に描いてもらい、その実現に必要なイノベーションを考え実際に取り組む形式です。2024年8月～2025年2月にかけて行われているインターンには、地元の学生5名が参加し、3チームに分かれてそれぞれのテーマに取り組んでいます。そのうちの1つ、「みんなで作ろう！ぼくたちの工場見学」は、社員の子供を対象に工場見学を行い、小学生向け工場見学のモデルを作成する活動です。親の働く現場を子供たちが実際に見て、社会への貢献を感じ取る機会を提供すると同時に、子供たちの意見を反映させた新しい見学プログラムを作り上げることを目指しています。昨年12月26日には社員の子供10名が実際に工場見学をし、意見交換を行いました。子供たちからは「廃油は何種類あるの？再利用方法は違うの？」「どうしてけがをせずに仕事ができているの？」など、素朴ながら考えさせられる質問や意見が45件出ました。

今後は出て来た意見を基に、授業の一環として当社を訪れる小学生に対して活用できるガイドマップを作成し、「静脈産業」の認知度向上に繋げていく予定です。

(担当：川村)



相場情報 ~生産部より~



2025年1月 見込み台数	
入庫台数	580台
処理台数	550台

こんにちは、会宝産業の山口です。北陸ではまだまだ冬の寒さが残りますが、いかがお過ごしでしょうか。これから春に向かうなか、鉄相場は冬のまま・・・と言ったところでしょうか。

1月中旬は円高に連動して海外輸出相場も下げに転じました。また、日本国内でもメーカーの粗鋼生産が低調である事から相場は更に下げに入ると予測されております。

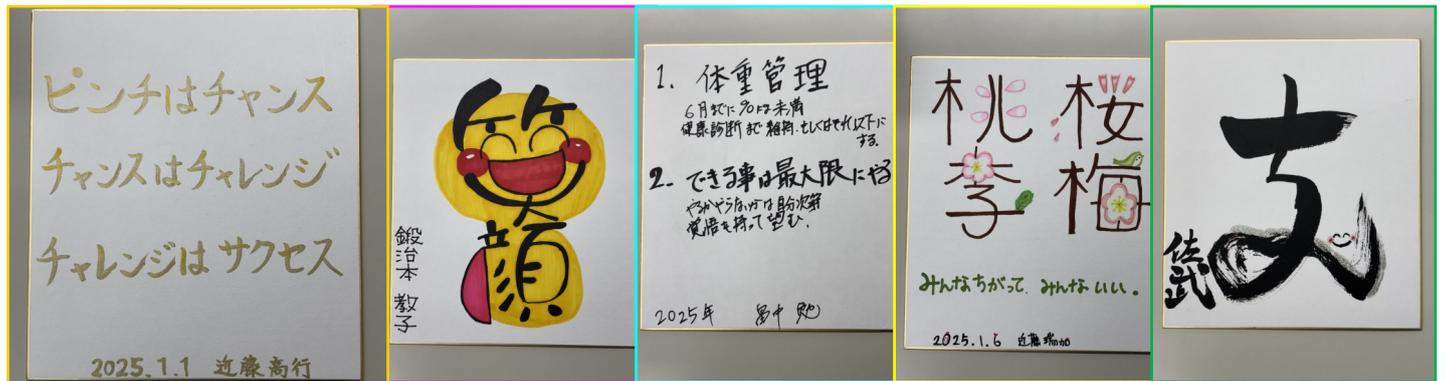
いっぽう、非鉄に関しては市中の発生が少ない事によって高値を維持していますが、米国、日本が政策金利を引き上げる事で今までの需要と供給の歪みが一気に戻り、相場が下落するのでは？とも言われています。発生簿で現状維持か、政策によって相場が変動するのか、いろんなニュースが気になる月になりそうです。



今月のピックアップ

~ 今年の抱負 ~

当社では年初に色紙を書いてくるという決まりがあります。そうは言っても「書いてくる」という決まり以外には自由というとてもゆる〜い決まりです。だからこそ色々な色紙が登場するので、年初の楽しみにもなっています。ちなみに今年はこのようなものがありました。



色紙に何を書こうかと考える時に、自然と「今年はどんな年にしよう」とか「今年はこんなことを頑張ろう」などと考えることが良いことだと実感しています。さらに、自分で考えるだけでなく、色紙を見ることで仲間の抱負を共有することができます。そうすることで、自然とコミュニケーションが生まれてきたりするものなのです。色紙は2階の会議室に掲示してありますので、ご来社の際はぜひご覧ください。

(担当：佐藤)

会宝産業
Homepage



車買取
Homepage



会宝産業
note公式
(毎週木曜日更新)



会宝産業
X (旧Twitter)



会宝産業
Facebook



車買取
Facebook



会宝産業
Instagram



会宝キッチン
Instagram

